第4回宗像市幼児教育審議会議事録（要点筆記）

日　時：令和4年3月3日（木）18時00分～19時30分
場　所：宗像市役所202会議室
出席者：船越会長、髙杉副会長、納富委員、牛島委員、井手委員、大和委員、
　　原田委員、井中委員、安枝委員、荻野委員、棚橋委員
事務局：髙宮教育長、（子どもグローバル人材育成部）徳永部長、（子ども育成課）中野課長、
　　（教育政策課）名切指導主事、（子ども家庭課）山本係長、（子ども育成課）賀来参事、
　　田中係長、瀧口係長、米野、三好、三吉

【会議内容】
1　あいさつ
　（教育長よりあいさつ）
2　協議
　・第4期宗像市幼児教育振興プログラム（案）について【資料1】
3　報告
　・令和3年度幼児教育事業報告について【資料2、3】

2　協議
◆第4期宗像市幼児教育振興緒プログラム（案）について事務局から説明
　第1章趣旨は、コロナ禍の影響や平成29年度から保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育保育要領が改訂されていることを盛り込んだ。
　第2章基本理念にある育てたい幼児像は、第3期プログラムと同じく「自分・ひと・環境とのかかわりを大切にするこども」としている。また目標については、共通理解がより図られるよう具体的な表現に改めた。
　第3章基本施策は、第3期の6つの柱を4つの柱に整理統合した。施策1は、第3期の施策1と3を統合し、保育者（保育所保育士、幼稚園・認定こども園等教員）の資質及び専門性の向上とした。また、施策2は、幼児教育と小学校教育の連携接続の強化、施策3は、第3期の施策4と6を整理統合して、家庭の教育力の向上、施策4は、配慮が必要な子どもが適切な支援・継続的な支援が受けられる体制づくりとした。第4章ではこれまでの取り組みをまとめた。

委員からの質問や意見
・基本施策4の（1）の協力体制の対象になぜ小学校・義務教育学校等が入っていないのか？
（事務局）小学校・義務教育学校等学校の学校教育は、（2）の連携接続の強化の部分に重きを置いているので、特に明記をしていない。しかし、学校教育の計画には協力体制の対象と明記されている。
・第3期の趣旨にあったインクルーシブ教育、多様性はどの部分に反映されているか？
（事務局）第4期は、インクルーシブという言葉はないが、基本施策の中にはそれを実現するための施策を盛り込んでいる。4つの施策を実現することでインクルーシブ教育も実現となる。育てたい幼児

像や目標の中にインクルーシブ精神の思いが含まれている。
・多面的な立場からの委員の意見をもとに改訂できたことはよかった。
・育てたい幼児像の対象が明確となり、目標で方針・方向が示されている。宗像市教育大綱の「自立し、かかわりを深める子どもを育成する」とリンクしている。
・配慮を必要とする子どもが、社会適応し自分らしく生きることができるよういかに育てていくか。その思いを伝えられる精神でありたいという思いが、この計画の中に感じられた。
（会長）この第4期宗像市幼児教育振興プログラム（案）について教育委員会に答申してよろしいか？
（委員）全員承認

◆今後の幼児教育の充実に向けて、市に伝えたい思いや提案について
委員からの意見
基本施策1
・幼児教育では体験活動を通して、探求心を高め楽しみながら、目標達成できるとよい。そのためには、カリキュラム据えることは大切である。
・このプログラムの理解が進むよう市が研修等で説明し、啓発をすることが大切である。
・市が作成する様々な計画は共通点も多く、関連付いている部分を抑えていただくとよいと思う。

基本施策2
・入学後スムーズに小学校の環境に慣れていく為に、スタートカリキュラムの確立が重要である。
・小学校へスタートカリキュラムの作成・実施を促していくと同時に、保護者へ取り組みの理解をしてもらうために、小学校の学級だよりなどで発信するとよい。
・小学校への円滑な接続のため、子ども成長発達に必要な情報を園や小学校で共有することは大切である。
・それぞれ特色のある園から小学校に入学するので、スタートカリキュラム、アプローチカリキュラムがとても大切になるので充実あるものにしてほしい。
・動画配信など研修方法の工夫をすると多くの方に理解が得られることに繋がる。
・教員や保育者が園の様子を見学できる保育の日の啓発が必要。

基本施策3
・園や小学校と一緒に保護者とも情報共有することが大切である。
・家庭教育支援の啓発は、SNS の利用や外国語の案内など様々なツールでの工夫が必要と思う。
・宗像市保護者研修大会では、対面が困難であったため YouTube での研修を実施し、かなりの成果があった。家庭教育学級を単独園だけでなく団体で取り組む連携の良さがある。
・県や市が行っている施策や接続期のカリキュラムの情報提供などが SNS などで紹介されると、保護者もより身近になり理解が進むのではないか。
・子育てに不安や悩みを抱えている保護者が安心して子育てができる環境づくりや啓発をすることが大切である。

基本施策4

・宗像市のさまざまある相談先やしくみなどのフローチャートがあると関連性が見えてよい。

・障害や発達に課題がある子どもの早期発見・相談が大切である。保護者がふくおか就学サポートノートを活用して学校に情報提供し、子どもを学ぶ権利を擁護する立場になるとよいと思う。

・配慮を必要とする子どもの保護者が、子育てなどのさまざまな力をつけることができるよう回りが理解し包み込むことが重要である。